

## 会 議 録

会議の名称	令和元年度第6回富士見市社会教育委員会議
開催日時	令和元年12月3日(火) 午後6時30分～8時
開催場所	みずほ台コミュニティセンター
出席者	搦木道代議長、佐々木真理子委員、高橋敏委員、古澤立巳委員、堀川博基委員、吉田徹子委員、吉田廣子委員、米山隆二委員 事務局
欠席者	荒川照子委員、京谷恵子委員
公開・非公開	公開(傍聴人 0人)
会議次第	1 協議事項 ・成年年齢引き下げに伴う成人式典の在り方について
会議資料	定期刊行物
会議録確認	搦木道代議長

## 会議内容（要点記録）

### 1. 開 会

○議長あいさつ

### 2. 協議事項

事務局より、前回までに出された課題と今後の取り組みについて、また、まとめの方向性について説明を行った。

【議長】 高校生のアンケート結果とまとめの方向性について、意見を求める。

【委員】 「ネット中継」というのが、今時の子どもという印象。

【委員】 成年年齢の引き下げについては、「下がる」ことは知っていても、「いつから」ということについては知らない高校生が7割いるというのが、数字として大きいように感じた。

【委員】 実際、対象として関わってくるのが、高校2年生からになるため、対象でなければ意識として低いのは納得ができるように思う。

【委員】 18歳で成人式を行う場合の意見として、「年下と一緒に式を行うのは、気分的に複雑」という意見について。現在の高校2年生は、20歳になる時に年下の19歳と18歳の人たちと一緒に成年とみなされる。複雑という気持ちは、当事者ならではのものと、受け止められる。

【議長】 成人式を何歳で行うのが良いかという意見について。8割強の方が「20歳」と答えている。数字だけでみると、20歳で行うことを望んでいると捉えられるが、意見を求める。

【委員】 高校生の学年が下がるにつれ、「18歳」の意見が多くなっている。

【委員】 「成年」「成人」「大人」といろいろな言い方が使われている。高校生のイメージとして20歳は「大人」であるが、18歳になったら「成年」というような感じなのではないか。

【委員】 18歳になり解禁されるものとされないものがある。先の質問の「いつから」という認識が薄いことをみると、解禁の内容について理解がされているとは考えにくい。もちろん知っている人もいると思うが、18歳ですべてが20歳と一緒にではないということ、きちんと理解してもらうことも必要ではないか。

【委員】 20歳開催の理由として、やはり現実的な理由（センター試験が重なるなど）が大きく占めているが、18歳開催の理由として「（20歳だと）社会人になっているから」というのが挙げられている。最近企業では、地元の成人式に出席するため、対象の社員に休暇を積極的に取らせる傾向があると聞く。

【委員】 飲酒については、20歳で解禁されるので、飲めるようになるからということでの20歳開催と、飲酒問題を避けるための18歳開催とにわかれている。毎年報道される飲酒により暴れている成人者のニュースの印象が強く、飲酒についてはマイナスイメージで成人式を捉えている人も多いのではないか。

【委員】 どのような式典を望むのかでは、「同窓会的」の意見が多くみられるが、富士見市はどのような式典を行っているのか。

【事務局】 式典と交流会の2部制をとっており、式典はおよそ30分、交流会を45

分で行っている。ここ数年は、オープニングでの太鼓の演奏や、実行委員の司会進行をサポートしてもらった芸人の派遣、記念品やサプライズの提供など式典の在り方を見直してきた。対象者が毎年変わるため、比較をすることは難しいが、途中退席をする新成人の方は、年々減ってきている。出席している新成人の雰囲気もよく、今年度の式典については、来賓として来てくださる先生が21名と、一番多い状況。当時の中学校での生徒教師の関係が良好であったことと、成人式を楽しく落ち着いて迎えたいという新成人が増えていっていると感じている。

【委員】 沖縄県では、出身中学校ごとにカラーが決まっており、そのカラーの衣装を着て成人式に臨んでいると聞いた。帰属意識がとても高い印象を受け、同窓会としての要素も強く感じる。

【委員】 (沖縄の) 学校にもよると思うが、後輩が先輩(新成人)の衣装を用意するところもあると聞く。賛否両論あるが、縦のつながりも強い印象をうける。

【委員】 報道では騒動のように流れるが、実際の式典の裏側では、郷土愛のような地元への帰属意識や、目上を敬うという道徳的な部分もあるのかもしれない。

【委員】 今までの成人式典がよい方向あるいは、このアンケートの意向を汲んでいるのであれば、最後のまとめ方として「今までのような式典を行う」というかたちにもなるのではないか。

【議長】 今回は高校生のアンケートであるため、保護者のアンケートの集計結果をみて判断できればと思う。これから式典に参加する立場と、参加させる立場の双方からの意見をみて、考えたい。

【委員】 自由記述のところで、親や兄弟が行ってきた伝統のものとの回答があるが、節目として成人式を大事にしている側面がある一方で、式典を必要としていない(出ない)という意見が対照的である。20歳から18歳に引き下げる意味がわからないとの回答については、成年年齢引き下げについて、周知徹底を図っていく必要があると感じる。

【委員】 市内の小学校の卒業式でも、和装と洋装に傾向が分かれる学校がある。その地域柄もあり、学年の雰囲気にもよるものの、卒業式が和装を着るひとつの機会になっている印象は受ける。

【委員】 富士見市の成人式は、中学校色が非常に強いように感じる。私立中学校に進学する子もいるため、1部の式典は出身中学校色を入れず実施していることは理解できる。また、「友達がいないから式典に参加しない」と答えている高校生については、中学校での友達はいなかったかもしれないが、高校生になって友達ができていく可能性は大きい。無理に出たくない成人式に出席するのではなく、新成人が選ばれる式典になるとよい。

【委員】 同窓会的要素が強いということが理解できた。直接成人式と関わりないかもしれないが、最近「同窓会」「同級会」「クラス会」をあまり聞かないように感じるが、やっているのだろうか。

【委員】 SNSで、すぐつながることができることから、やっている子はやっている。直接話を聞いたり、実際SNSで見たりもする。

【委員】 40歳～50歳くらいの世代と今の若い世代では、同窓会の捉え方も異なるのではないか。SNSでつながっているから、わざわざ集まる必要性を感じないという感覚なのかもしれない。

- 【委員】個人情報保護の関係で、卒業アルバムに名簿の掲載がなくなったことなども、同窓会が減ってきた理由になっているのではないか。
- 【委員】「友達」の記述がいろんなところに出てくるが、「友達」の感じも昔と今では異なっているように感じる。昔は、学校が終わった後に、友達の家を歩き来して遊んだように思うが、今は行き来がない。両親共働き世帯が増えたため。それゆえ、「友達」というと、学校のみで完結してしまい、学校が全てであるという印象をうける。学校で友達とうまく行かないと、その後引きずる結果となり、成人式も「友達がいないから」という回答につながってくるのではないかと思う。
- 【議長】次回以降で、集計結果と課題の整理を行っていく方向だが、「18歳にする意味として、自立や自覚、社会参加をどのように促すか」という部分では、この会議で意見をまとめるか否か。
- 【委員】成人式を18歳にするか20歳にするかという結論は出るので、年齢の意味づけは出てくることから、そこで網羅されるのではないか。
- 【委員】どちらの年齢になったとしても、課題は出てきてしまうのではないか。せっかくアンケートなどをもって意見を聴取していることから、課題は課題で残す形にして、まとめるのはどうか。
- 【委員】18歳か20歳かを提案したのち、課題はラストでもってきて、まとめるのがよいと思う。

今回は、集計結果と課題の整理、まとめを行っていく。

#### 次回会議日程

令和元年度第7回会議

日程：令和2年2月13日（木）午後7時～

場所：教育委員会 会議室

### 3. 閉 会